記者説明会資料

平成 16 年 7 月 7 日
独立行政法人国民生活センター

# 今月の原因究明テスト実施状況
## （２００４年５月分）

２００４（平成１６）年５月の原因究明テストの受入件数は３件であり、すべて消費生活センターおよび行政機関から依頼のものである。商品分類別の内訳は、保健衛生品１件、車両・乗り物２件である。今年度の受入件数の累計は７件となった。

テストを実施し回答した件数は３件であり、すべて消費生活センターおよび行政機関から依頼のものである。商品分類別の内訳は、食料品２件、保健衛生品１件である。今年度の実施件数の累計は４件となった。

テスト受入件数（( )内は年度累計件数）

| 商品分類<br>分類 | 食料品 | 住居品 | 光熱水品 | 被服品 | 保健衛生品 | 教養娯楽品 | 車両・乗り物 | 土地・建物・設備 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国民生活センター | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (1) |
| 消費生活センターおよび行政機関 | 0 (0) | 0 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (2) | 0 (0) | 2 (2) | 0 (1) | 3 (6) |
| その他 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 計 | 0 (0) | 0 (1) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (3) | 0 (0) | 2 (2) | 0 (1) | 3 (7) |

テスト受入商品等

| 商品名 | 件数 | 苦情の内容 |
|---|---|---|
| メガネ | 1 | メガネフレームで耳の付け根に裂傷を負った。 |
| 普通自動車 | 1 | 高速道路を走行中に左に流れてしまい危険で走行できない。 |
| 折りたたみ自転車 | 1 | ハンドル部の組み立てが、取扱説明書どおりできず危険を感じて乗れない。 |

テスト実施件数（( )内は年度累計件数）

| 商品分類<br>分類 | 食料品 | 住居品 | 光熱水品 | 被服品 | 保健衛生品 | 教養娯楽品 | 車両・乗り物 | 土地・建物・設備 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国民生活センター | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 消費生活センターおよび行政機関 | 2 (2) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 0 (0) | 0 (1) | 0 (0) | 3 (4) |
| その他 | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) |
| 計 | 2 (2) | 0 (0) | 0 (0) | 0 (0) | 1 (1) | 0 (0) | 0 (1) | 0 (0) | 3 (4) |

テスト結果の概要

| 受入月 | 商品名 | 経緯及びテスト依頼内容 | テスト結果の概要 |
|---|---|---|---|
| '04/01 | 食用油 | 少量で使用できるという揚げ油が発火してやけどを負った。少量で使用できる事をうたった油について、発火しやすいことがないか調べてほしい。 | 苦情品の引火点、発火点は他銘柄と大差なかった。再現テストでも出火時の温度、発火時間とも他銘柄と大差なかった。しかし銘柄に関わらず油の量が少なくなるほど油の温度の上昇が早く、短時間で発火することがわかった。 |
| '04/03 | マッサージ器 | 座椅子型のマッサージ器を使用後に電源スイッチを切って放置したところ、数時間後に焦げた臭いがしてマッサージ器が高温になっていた。危険なので高温になった原因を調べてほしい。 | 異常発熱に至った原因は、ローラー部の反転スイッチが機能せず、ローラー部が上部まで達して停止した状態でモーターに電流が流れ続けたためと考えられる。反転スイッチが機能しなかった原因として回路ボックスの固定方法や配線コードの取り回しに問題があった可能性があり、異常動作時の安全対策について、改善の余地があるものと考えられる。 |
| '04/02 | すいとんの粉 | すいとんの粉を使ってドーナッツを揚げたところ、油が飛び散り顔をやけどした。混合割合は表示通りに行った。油が飛び散った原因を調べてほしい。 | すいとんの粉でドーナッツを作る際にすいとんの調理条件の水分量で大きさやこね時間、油の温度を変化させた時は、小さな油の飛び散りがあっても危険を感じるような状態ではなかった。しかし、水分量を変化させたときには、危険な破裂が起きることも考えられたため、ベーキングパウダーと砂糖だけでなく、水の量に関しても注意書きが必要と考えられる。 |

<title>今月の原因究明テスト実施状況（２００４年５月分）</title>